

降圧薬とグレープフルーツの相互作用



高血圧や狭心症の治療に用いられるカルシウム拮抗薬(ジヒドロピリジン系)は酵素(シトクロームP450)で代謝されます。

グレープフルーツに含まれるフラノクマリンにはその酵素を不可逆的に阻害する作用が報告されています。

そのため、カルシウム拮抗薬(ジヒドロピリジン系)をグレープフルーツジュースなどで服用すると薬が代謝されず

血中濃度が上昇し、過度な血圧低下、ふらつきや頭痛などの薬の副作用が強くなってしまいます。



当院採用のカルシウム拮抗薬(※ジヒドロピリジン系)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ・アムロジピンOD錠2.5mg、5mg | ・ペルジピンLA40mg |
| ・シルニジピン錠10mg | ・テラムロ配合錠AP、BP(*アムロジピン5mg) |
| ・ニフェジピンCR20mg、CR40mg、L10mg | ・レザルタス配合錠HD(*アゼルニジピン16mg) |
| ・ベニジピン塩酸塩錠4mg | |

グレープフルーツ以外にも気を付ける成分を含んでいる柑橘類があります。

⚠ 成分を含む柑橘類 ⚠



- ・スイーティー
- ・ブンタン
- ・ハッサク
- ・ダイダイ

成分を含まない柑橘類

- ・バレンシアオレンジ
- ・カボス
- ・温州みかん
- ・レモン



注意

グレープフルーツの影響には個人差があります。時間をずらして飲んでも影響が出ることがあります。またグレープフルーツジュース以外に、果肉やマーマレードジャム(加工品)などにも成分が含まれます。